クラブ特集 ～私たちがんばってます～

上沖ブルースターズ

大谷の名言胸に憧れの存在乗り越え初優勝

5年生エース富澤が4安打1失点に抑え完投!!

第36回県民総合スポーツ小学生ソフトボール大会が9月3日～10月1日、上尾市平方スポーツ広場で行われた。女子決勝は上沖ブルースターズ（春日部市）が3―1で深谷ジュニアソフトボールクラブを下し、初優勝を飾った。2回表に7番大淵茉結（4年）の適時二塁打で先制し、6回表には4番富澤杏菜（5年）の右中間三塁打などで2点を追加。エースの富澤が相手打線を4安打1失点に抑えて快勝した。

【女子】
▽決勝
上沖ブルースターズ　010 002 3
深谷ジュニアソフトボールクラブ　000 001 1
（時間制限で6回終了）
（上）富澤―小山
（深）千葉―佐藤
二塁打　富澤（上）
大淵、四辻彩（上）

初優勝を飾った上沖ブルースターズ

大淵が適時二塁打

上沖ブルースターズのメンバーが、憧れの存在を乗り越えて頂点に立った。強豪の深谷ジュニアを3―1で下し初優勝。接戦を制しての勝利に、小山淳監督は「終始、しびれる展開で…疲れました」と、笑顔の中で本音を漏らした。

先手を取った。2回表2死二塁で7番大淵の適時二塁打。「いい球がきたら積極的にいこうと思っていた」と、初球をたたいて先取点を奪った。6回表無死一塁では4番富澤が右中間三塁打。送球が乱れる間に自らも生還し3―0とリードした。

その富澤がマウンドでも奮闘した。5回を除いて毎回、走者を出しながらも1失点で完投した。チェンジアップの制球に苦しむと「直球できればいいストライクを取れたので」と、切り替える頭脳的な投球を披露。「捕手のリード通りに内角も突けたし、相手にバットを振らせる投球ができた」と、好投の要因を振り返った。

県大会で2、3位が続いていた上沖ブルースターズ。この日対戦した深谷ジュニアは毎年のように県Vを成し遂げ全国3位の実績も持つ強豪。今季も春の全国予選準決勝で3―10、夏の全国予選決勝で1―9と大敗した「正直、（深谷は）憧れるほど強かった」と富澤。その思いを払拭するため「憧れるだけじゃ超えられない」とWBCで大谷翔平（エンゼルス）が残した名言を記したTシャツを作成した。

4安打1失点と好投した5年生エース富澤 ▶

2回表2死二塁で7番大淵が先制二塁打を放つ

6回表、3点目のホームを踏み笑顔の富澤

全国大会16強入り

第2代表として出場した全国大会では16強入りし、初戦敗退となった第1代表の深谷ジュニアを上回った。「今日も深谷は強いと思ったけど、でも勝てると自信があった」（長谷川果穂主将、6年）と、重ねてきた努力とともに強くなった気持ちが、メンバーのプレーを後押しした。

この日のスタメンは5年生エースの富澤のほか、4年生が5人という若いチーム。「大エースになって、全国で優勝。そのためにしっかり練習する」という富澤の言葉が、黄金時代到来を予感させた。

チャンス生かせず

深谷ジュニアソフトボールクラブ　6回裏に2番千葉るえ（6年）の左前適時打で1点を返したが、反撃もそこまで。主将の千葉は「最初にいい流れを持ってくることができなかった」と、3回裏2死二塁、4回裏2死三塁などのチャンスを生かせなかったことを敗因に挙げた。

上上上